

《担当者名》教授 / 岡崎 克則 教授 / 小林 道也

【概要】

最近の医療機関などにおける感染対策の現状と課題について学ぶ。その中で、チーム医療での感染制御活動における薬剤師の役割を理解する。

【学修目標】

- ・ 医療関連感染の基礎知識を理解し、チーム医療における各種医療職の役割について説明できる。
- ・ 医療関連感染における薬剤師の役割を理解し、応用するための専門知識や技術について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	法制度	感染制御に関わる法制度について説明できる。	岡崎 克則
2	病原微生物 1	感染制御のための微生物の基礎知識について説明できる。	岡崎 克則
3	病原微生物 2	留意すべき細菌感染症の基礎知識について説明できる。	岡崎 克則
4	病原微生物 3	留意すべき真菌感染症・ウイルス感染症の基礎知識について説明できる。	岡崎 克則
5	薬剤耐性菌	薬剤耐性菌の基礎知識について説明できる。	岡崎 克則
6	消毒薬 1	消毒薬の基礎知識について説明できる。	岡崎 克則
7	消毒薬 2	消毒薬の適正使用（生体、器材・環境）について説明できる。	岡崎 克則
8	抗菌薬の適正使用 1	抗菌薬の基礎知識について説明できる。	小林 道也
9	抗菌薬の適正使用 2	抗菌薬のTDM、PK-PDについて説明できる。	小林 道也
10	抗菌薬の適正使用 3	抗菌薬の選び方、使用上の注意点について説明できる。	小林 道也
11	感染対策の実際 1	感染制御に関する種々ガイドラインについて説明できる。	小林 道也
12	感染対策の実際 2	サーベイランスとアウトブレイクへの対応について説明できる。	小林 道也
13	感染対策の実際 3	洗浄・滅菌の実際について説明できる。	小林 道也
14	感染対策の実際 4	医療廃棄物の基礎知識と感染対策について説明できる。	小林 道也
15	感染対策の実際 5	感染制御対策における薬剤師の役割について説明できる。	小林 道也

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・受講態度（50%）と課題・レポートの評価（50%）により成績を評価する。

【教科書】

日本病院薬剤師会監修 「薬剤師のための 感染制御マニュアル 第3版」 薬事日報社

【参考書】

戸塚恭一他（日本語版監修） 「サンフォード 感染症治療ガイド2012」ライフサイエンス
JAID/JSC感染症ガイド委員会 「JAID/JSC感染症ガイド2011」 ライフサイエンス

【学修の準備】

各項目の基礎知識などについてよく理解しておく必要がある。